

第1学年 国語総合（現代文分野）学習指導案

1. 単元名：「発表を聞く」スキルを身につけよう。

2. 単元の目標【学習指導要領の記載事項】

文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	【知識・理解】
「伝統的な言語事項と国語に関する特質」の（1）のイの（イ）	
目的や場に応じて、的確に聞き取ったりすることができる。また聞いた内容をもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	【話す・聞く能力】
学習指導要領（1）のイの記載事項	
目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとする。	【関心・意欲・態度】
学習指導要領（1）のイの記載事項の文末を「～ようとする」とする	

3. 教材：プリント教材

4. 単元の評価規準

知識・理解	話す・聞く能力	関心・意欲・態度
文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。（具体的には、講演や発表を聞くときのポイントについて理解している）	目的や場に応じて、的確に聞き取ったりすることができる。また聞いた内容をもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとする。また聞いた内容をもとに、自分に引き付けて考えている。

5. 中心となる言語活動

講演や発表を聞いて、話題の中心についてまとめる活動。

（本単元の言語活動と関連する小中学校の言語活動例）
省略

6. 単元の指導と評価の計画 ○数字は通時数を表す。 ※T Tによる実践

次	具体的な評価規準と評価方法	学習活動
第一 次 ①	<p>【評価規準】 講演や発表を聞くときのポイントを理解する。 (知識・理解)</p> <p>【評価方法】 「記述の点検」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問1 ①講演者の熊坂氏が社会人デビューしたのはいくつ時? ②その年で社会人デビューしたのはなぜ?</p> <p>問2 ①熊坂氏が最初に働いたのは何のアルバイト? ②採用された理由はなぜだと熊坂氏は分析している?</p> <p>問3 熊坂氏の主張を50~60字でまとめなさい。</p> </div>	<p>○『きく』ということについて確認(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント1の冒頭部分について取り上げ、今回は講演や発表を聞く場面における「聞く」スキルを身につけることを目標にすることを共有。 <p>○素朴概念の外化(5分) OPPシートとワーク1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「講演や発表を聞くときにはどのようなことに気を付ければよいか?」という問いについて考える。 <p>○素朴概念の共有(7~8分)・相互に意見交流する。</p> <p>○全体での共有(7~8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに尋ね不足事項は授業者が補う。 <p>○ワーク2の演習(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊坂氏のプレゼン視聴。(質問は教えずただ見せる) https://www.youtube.com/watch?v=TMj107UUubU 授業者は問1~3を板書して生徒に考えさせる。 <p>○本時の振り返り(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時は個人の取組まで。 ・感じたことをOPPにまとめさせる。
第二 次 ② ③ ④の 前半	<p>【評価規準】 目的や場に応じて、的確に聞き取ったりすることができる。また聞いた内容をもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。(話す・聞く能力)</p> <p>【評価方法】 「行動の確認」「記述の確認」</p>	<p>○ワーク2の個人の取組をグループで共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・☆1 ワーク2の個人メモの共有 ・質問の答えをグループで共有する。 <p>・もう一回視聴する。→聞くべき内容が明らかになった上で視聴するので、よりわかりやすくなるはず</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度グループで答えをまとめさせる。→答え合わせ ・話を聞く際に必要なことは何か、考えさせる。 <p>○学習プリント3 メモの取り方</p> <p>○ワーク3の個人演習2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降、ワーク2と同じプロセス ・ワーク2との違いは、問6で松山氏に対して投げかける質問を考えること。
第三 次 ④の 後半	<p>【評価規準】 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとする。また聞いた内容をもとに、自分に引き付けて考えている。(関心・意欲・態度)</p> <p>【評価方法】 「行動の確認」「記述の確認」</p>	<p>○単元の学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「講演や発表を聞くときにはどのようなことに気を付ければよいか?」という問いについて再度考える。 ・グループで交流して全体で共有する <p>「聞く視点」がわかり、「聞くスキル」が身につくことは、「話す視点」「話すスキル」にも通じる。聞き手としての立場だけでなく、今回の学習を話し手としての立場においても生かしてほしい。</p>